

吉田兄弟(兄) 吉田良一郎プロデュース

WASABI LIVE 2026「四奏繚乱」

新・純邦楽ユニット

WASABI

吉田兄弟の兄、吉田良一郎が率いる
“和楽器界の新たなカリスマたち”



峯雲 他

KOKIRIKO(こきりこ節)

ふるさと

烈光

予定曲目

伝統に根ざしながらも、
既存の枠にとらわれず、
新しい表現へと挑み続ける
私たちの音。
四つの音が、自由に、
そして鮮やかに咲き乱れる――
その瞬間を、
どうぞ体感してください。

2026
11/28

|土|
15:00 開演
(14:15 開場)

※上演時間約90分(休憩なし)

豊中市立文化芸術センター 大ホール

■チケット料金[全席指定/税込/未就学児の入場不可]

一般 5,500円 (club CaT 有料会員 5,000円)

U25 2,500円

※障害者割引あり。障害者とその介助者1名まで2割引。

主催：豊中市立文化芸術センター（豊中市市民ホール等指定管理者）・豊中市 とよなか音楽月間2026参加事業

チケット発売日

会員先行：2026年7月30日(木)～8月5日(水)

一般発売：2026年8月6日(木)



公演情報





新・純邦楽ユニット WASABI

吉田兄弟(兄)吉田良一郎が「日本の心・和の響き」と題した学校公演プロジェクトとして、元永拓(尺八)、美鵬直三郎(太鼓・鳴り物)と2008年に活動を始める。2010年に市川慎(箏・十七絃)が加入し、津軽三味線／尺八／箏／太鼓による代表的な和楽器が集結した新・純邦楽ユニットが誕生する。2011年にユニット名を、「WA」=和、「SABI」=サビ(盛り上がり)という意味合いから命名。2012年にデビューアルバム『WASABI』をリリース。一般公演もスタート。キャッチーなメロディーラインとコンパクトさを意識した構成による楽曲で、日本人に限らずステレオタイプにイメージしがちな雅で叙情的な世界観だけではなく、迫力ある「和のバンド」のグルーブを生み出している。2014年に「WASABI 2」、2019年に「WASABI 3」、そして2024年1月に4枚目のアルバム「BEAMING」をリリースしている。

よしだ・りょういちろう

吉田良一郎 津軽三味線

父の勧めにより5歳で三味線を手にする。同級生とは違った習い事に少年時代は恥ずかしさを覚えたが、津軽三味線と出会いその魅力に惹きつけられる。弟・健一と競い合うように習得し、共に数々の津軽三味線の大会で入賞を重ねて注目される。吉田兄弟として1999年にメジャーデビュー、2003年には全米デビューを果たす。



無我夢中で駆け抜けた20代も終わる頃、自分の体が変わってきたと感じる。自分のプレイスタイルを見直す作業のなかで、「和」の音楽をもっと突き詰めたいと考えるようになった。一方で「このままでは民謡も、和楽器も衰退してしまうのではないか」という危機感を強く持つ。津軽三味線だけではなく、他の和楽器も交えた伝統音楽の良さを伝えるために「ライフワークとして学校公演をやりたい。」これがこのユニットの出発点になる。民謡や古典の世界観は、現代人の生活とはかけ離れたものになり、難解と思われがちだ。先人が残してくれた素晴らしい民謡や古典の要素を使いながら、今の感性にあったアプローチで「和のカッコイイ」音楽を作ることがテーマ。新しい風を感じてもらえるおもしろいグルーブができたと感じている。

いちかわ・しん

市川慎 箏・十七絃

幼い頃は親が忙しんでいる原因である箏が大嫌いだった。箏には見向きもせず中学生からギターを始め、高校時代にはメタルバンドを組む。高校3年生のとき、TVで後の師匠となる箏奏者がギター音楽を思わせるオリジナル曲を演奏するのを観て衝撃を受ける。「こんなことができるなら、箏をやってみようかな。」卒業後に秋田から上京、沢井比河流氏、沢井一恵氏の門下に入る。周りは子どもの頃から始めてプロへと進む人ばかり。稽古だけでなく、礼儀作法も徹底的に叩き込まれる内弟子としての毎日は想像以上に厳しかったが、1年も経つと弾ける喜びを感じられるようになってきた。その後コンクール入賞やリサイタル出演などで若手演奏家として注目され、2002年には尺八とのユニット「ZAN」でメジャーデビューする。ギターに近い弦楽器で好きな音楽をやり、さらに生田流箏曲「清絃会」家元の跡取りとして四代目を継げれば、すべてが上手くいく気がしていた。今は、古典を受け繋いでいく過程の一人として「教える」という重要な使命があると感じている。さらに、より多くの人に箏を知ってもらうためにも、一緒に演奏する機会のなかった楽器とのユニットであるこのグループは魅力的だ。一人の箏奏者としても、和楽器だけでここまでおもしろい音楽が作れるのか、チャレンジしたいと考えている。



もとなが・ひろむ

元永拓 尺八

4歳からヴァイオリン、中学生ではトロンボーンと楽器にふれることが多かった。一方で、幼少から少年時代を台湾、シンガポールで過ごし、「和」に憧れを持つようになる。シンプルでクリーン、スピリチュアル、日本文化の持つ「静」に強く惹かれた。帰国後、ヘビーメタル系バンドでギターを弾きながらも、神社仏閣に関心を持ち、坐禅に取り組み、歴史小説を読み、歌舞伎座に通う高校生になった。大学で邦楽サークルに勧誘され尺八を手にし、馴染んできた「演奏すること」と「和」がつながる。大学生生活最後の年にはNHK邦楽技能者育成会第44期生に合格。プロを目指す人たちとのアンサンブルが刺激的だった。「やれるところまでやってみたい。」師匠について技術を一から学び直す。その後、尺八トリオ「般若帝國」「日本音楽集団」に参加し、海外での演奏会や学校公演を多数行ってきた。音だけでメッセージを伝えることは難しいけれど、尺八という現代では珍しくなった楽器だからこそ、興味を持ってもらえると感じている。尺八の根本にある虚無僧の古典本曲に取り組むことがライフワーク。その要素がこのユニットの音楽にも影響を与え、メンバーがこれまで取り組んできた民謡、御雛子、箏曲、本曲など、日本の音楽が持つ特徴を出し合い融合することで、もっと強烈な音楽を生み出したいと思っている。



びほう・なおさぶろう

美鵬直三郎 太鼓・鳴り物

誤解を恐れずにいえば、太鼓奏者ではあるが特別に「和」を意識することはない。洋の東西を問わず楽器はたくさんあり、偶然自分の身近にあったのが日本の太鼓だった。和楽器奏者や唄い手がいる家で生まれ育った少年時代は、民謡が楽しいものだと感じていなかった。中学、高校時代と美鵬流の創始者である祖父の稽古場へ通っていたが、嫌々取り組む毎日で怒られてばかりいた。卒業後の進路に「家の仕事」を選ばず就職して家を出るが、家族に頼まれ演奏を手伝うことが続くうち、太鼓が嫌いじゃない自分に気づき始める。一度離れた世界へ戻ってくるのができたのは祖父と親のおかげだ。今、「自分は民謡も太鼓の演奏技術も“美鵬”から預かっている」と考える。「美鵬流を学びたい」といってくれる人に持っている技術を渡すことが「美鵬」の名を残すことにつながっていく。内弟子を終え、プロとして経験を積み、同世代の演奏家たちと出会うなかで、ようやく音楽の楽しさが感じられるようになった。太鼓や鳴り物で、音楽が持つ情景に色づけしていくことに魅力を感じ、一人で演奏するよりもアンサンブルを好む。このユニットに参加したことで、演奏家としての視野が広がった。夢のあるチームで、もっと先にある何かを見てみたいと考えている。



■チケット取り扱い

○豊中市立文化芸術センター

オンラインチケット <https://www.toyonaka-hall.jp/ticket/>

チケットオフィス (電話・窓口) 06-6864-5000 (10:00-19:00/月曜休館)



※会員先行はオンラインチケット・電話のみ受付。初日は10:00より受付開始。

※一般発売初日は10:00よりオンラインチケット・窓口で受付開始。残席がある場合は、同日15:00より電話受付開始。

○ローソンチケット <https://l-tike.com/> (Lコード 53357)

○イープラス <https://eplus.jp/>

■チケットご購入時の注意事項

- ・未就学児のご入場はご遠慮ください。
- ・障害者割引および車椅子席は、豊中市立文化芸術センターチケットオフィス(電話・窓口)のみでのお取り扱いとなります。
- ・U25チケットは、公演当日に25歳以下の方が対象です。ご入場時に年齢確認のできる証明書をご提示ください。
- ・お支払方法およびチケット受取方法によっては、決済手数料や発券手数料等が別途必要となる場合があります。
- ・公演中止の場合を除き、ご購入後のチケットの払い戻し、変更、キャンセルはお受けできません。
- ・営利目的でのチケットの転売は固くお断りいたします。
- ・開演後のご入場は、演出の都合上、制限させていただきます。
- ・客席内での写真撮影、録音、録画、携帯電話等のご使用は固くお断りいたします。
- ・やむを得ない事情により、出演者や曲目等が予告なく変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。



○阪急宝塚線「菅根」駅下車 東へ約300メートル(徒歩約5分)
阪急「大阪梅田」駅より約20分

※駐車場(有料)には台数に限りがございますので、ご来館の際はなるべく公共交通機関をご利用ください。

■お問い合わせ：豊中市立文化芸術センター 大阪府豊中市菅根東町3-7-2

電話 06-6864-5000 (10:00-19:00/月曜休館)

<https://www.toyonaka-hall.jp/>